農山漁村地域整備計画　事後評価調書

計画の名称	第３期　鹿児島県森林基盤整備（内地）計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	鹿児島市，日置市，いちき串木野市，枕崎市，指宿市，南さつま市，南九州市，薩摩川内市，阿久根市，出水市，さつま町，長島町，霧島市，伊佐市，始良市，湧水町，鹿屋市，垂水市，曽於市，志布志市，大崎町，南大隅町，肝付町（23市町）
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）

1. 交付対象事業の進捗状況

5年間で141地区を本計画に位置付けて事業を実施した。
進捗率は約93%であり、概ね計画どおりの事業進捗が図られた。

	種別	地区数	内訳
対象事業 上段：計画 下段：実績	①対象事業	(141) 141	治山事業（90地区），森林整備事業（51地区）

全体事業費	種別	事業費（千円）		進捗率(%) (ⅱ)÷(ⅰ)	備考
		計画（ⅰ）	実績（ⅱ）		
	対象事業	8,209,231	7,645,262	93.1%	治山：5,651,260千円　林道：1,994,002千円

2. 事業効果の発現状況

事業名	事業効果の発現状況
①治山事業	治山施設の整備等により，山地に起因する災害から国民の生命・財産の保全等が図られた。
②森林整備事業	林道の開設や施設の改良・補修等により，林業生産活動の効率化や農村地域の活性化が図られた。

3. 成果目標の目標値の実現状況

定量的指標	指標項目	目標値（ⅰ）	実績値（ⅱ）	達成率(ⅱ)÷(ⅰ)	備考
①山地災害危険地区における対策着手箇所を令和6年度までに3地区増加させ、着手地区数を5,270地区とする。	増加地区数	3地区	*21地区*	*700.0%*	達成
	山地災害危険地区着手地区数	5,270地区	*5,288地区*	*100.3%*	達成
②素材（木材）生産量を令和6年度に1,406千m3以上とする。	令和6年度素材（木材）生産量	1,406千m3	1,372千m3	*97.6%*	おおむね目標を達成

4. 今後の方針

本計画に基づく事業の実施により、国が策定した「森林整備保全事業計画」を踏まえ，強靭な県土づくりや防災・減災対策の推進の観点から，危険度や緊急性の高い山地災害危険地区等を主体に計画的な治山施設の整備等を図り，県民の安全で安心な暮らしを支える県土の形成に寄与することができた。

今後も、林道等の整備により，木材生産の低コスト化の推進，森林の多面的機能の持続的発揮に努めるとともに、林道における重要な施設の点検診断，保全整備，改良を計画的に行うことにより，施設の長寿命化と機能強化を図っていく。

農山漁村地域整備計画　事後評価調書

計画の名称	第３期　鹿児島県森林基盤整備（離島）計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	三島村，十島村，薩摩川内市，長島町，西之表市，中種子町，南種子町，屋久島町（8市町村）
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）

1. 交付対象事業の進捗状況

5年間で20地区を本計画に位置付けて事業を実施した。
進捗率は約97％であり、概ね計画どおりの事業進捗が図られた。

	種別	地区数	内訳
対象事業 上段：計画 下段：実績	①対象事業	(20) 20	治山事業（13地区），森林整備事業（7地区）

全体事業費	種別	事業費（千円）		進捗率(%) (ⅱ)÷(ⅰ)	備考
		計画（ⅰ）	実績（ⅱ）		
	対象事業	2,818,225	2,726,746	96.8%	治山：1,113,432千円　林道：1,613,314千円

2. 事業効果の発現状況

事業名	事業効果の発現状況
①治山事業	治山施設の整備等により，山地に起因する災害から国民の生命・財産の保全等が図られた。
②森林整備事業	林道の開設や施設の改良・補修等により，林業生産活動の効率化や農村地域の活性化が図られた。

3. 成果目標の目標値の実現状況

定量的指標	指標項目	目標値（ⅰ）	実績値（ⅱ）	達成率（ⅱ）÷（ⅰ）	備考
①山地災害危険地区における対策着手箇所を令和6年度までに6地区増加させ、着手地区数を353地区とする。	増加地区数	6地区	*7地区*	*116.7%*	達成
	山地災害危険地区着手地区数	353地区	*354地区*	*100.3%*	達成
②素材（木材）生産量を令和6年度に66千m3以上とする。	令和6年度素材（木材）生産量	66千m3	36千m3	*54.5%*	林業労働力の減少により目標を下回る結果となった。今後，木材生産の効率化を図るためにも林道整備をさらに推進する。

4. 今後の方針

本計画に基づく事業の実施により、国が策定した「森林整備保全事業計画」を踏まえ，強靭な県土づくりや防災・減災対策の推進の観点から，危険度や緊急性の高い山地災害危険地区等を主体に計画的な治山施設の整備等を図り，県民の安全で安心な暮らしを支える県土の形成に寄与することができた。

今後も、林道等の整備により，木材生産の低コスト化の推進，森林の多面的機能の持続的発揮に努めるとともに，林道における重要な施設の点検診断，保全整備，改良を計画的に行うことにより，施設の長寿命化と機能強化を図っていく。

農山漁村地域整備計画　事後評価調書

計画の名称	第３期　鹿児島県森林基盤整備（奄美）計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	奄美市，大和村，宇検村，瀬戸内町，龍郷町，喜界町，徳之島町（7市町村）
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）

1. 交付対象事業の進捗状況

5年間で22地区を本計画に位置付けて事業を実施した。
進捗率は約98％であり、概ね計画どおりの事業進捗が図られた。

	種別	地区数	内訳
対象事業 上段：計画 下段：実績	①対象事業	(22) 22	治山事業(8地区)，森林整備事業(14地区)

全体事業費	種別	事業費（千円）		進捗率(%) (ⅱ)÷(ⅰ)	備考
		計画（ⅰ）	実績（ⅱ）		
	対象事業	2,703,369	2,642,300	97.7%	治山：575,578千円　林道：2,066,722千円

2. 事業効果の発現状況

事業名	事業効果の発現状況
①治山事業	治山施設の整備等により，山地に起因する災害から国民の生命・財産の保全等が図られた。
②森林整備事業	林道の開設や施設の改良・補修等により，林業生産活動の効率化や農村地域の活性化が図られた。

3. 成果目標の目標値の実現状況

定量的指標	指標項目	目標値 （ⅰ）	実績値 （ⅱ）	達成率 (ⅱ)÷(ⅰ)	備考
①山地災害危険地区における対策着手箇所を令和6年度までに3地区増加させ、着手地区数を195地区とする。	増加地区数	3地区	*6地区*	*200.0%*	達成
	山地災害危険地区着手地区数	195地区	*198地区*	*101.5%*	達成
②利用可能な優良林分を増大させるため，森林整備(R2～R6)を2,500ha実施する。	森林整備面積(R2～R6)	2,500ha	*2,571ha*	*102.8%*	達成

4. 今後の方針

本計画に基づく事業の実施により、国が策定した「森林整備保全事業計画」を踏まえ，強靭な県土づくりや防災・減災対策の推進の観点から，危険度や緊急性の高い山地災害危険地区等を主体に計画的な治山施設の整備等を図り，県民の安全で安心な暮らしを支える県土の形成に寄与することができた。

今後も、林道等の整備により，利用可能な天然広葉樹林の優良林分の増大，森林の多面的機能の持続的発揮に努めるとともに，林道における重要な施設の点検診断，保全整備，改良を計画的に行うことにより，施設の長寿命化と機能強化を図っていく。